

大草谷津田生き物の里 自然観察会

草花遊び（葉脈を活かした遊び・笹舟）

佐藤 一枝（千葉市）

日 時；2013年7月7日（日）10：30～12：00 天候；晴れ

参加者；28名（大人18 子ども10名）

担当指導員；田井中信子・佐藤一枝

今日は七夕、朝、笹竹を切って、七夕飾りを付けて用意した。早く来た方は短冊に願い事を書き、紙縫りを通して親子で楽しそうに結んでいた。日陰で大草谷津田の成り立ち。熱中症対策として水分補給をお願いし、保険の説明をする

コナラの葉の葉脈をいかしてミニズクを作る 枝や葉を痛めない葉の取り方を説明。

各自で葉を取り葉脈を活かして指先や爪を使って上手に切り、可愛らしくできました。

谷津田に出るとトンボが群れ飛び、オニヤンマの飛行も始まり、トンボを捕まえたり、オタマジャクなどに興ずる風景に谷津田は生き物にも人にも楽園です。

木陰で**葉の形・葉脈を擦り出す**。大人には懐かしい遊びです。薄め紙に葉を挟み、クレヨンで擦ると、葉脈が綺麗に浮き出てきてうれしそう。それを切り取って、“大草の森”と題した大きな紙に貼ると、大草の森はピンク、赤、水色、黄色、緑の葉っぱで綺麗です。数えると21種類ありました。秋はどんな色の葉っぱになるでしょう？

大人は赤・黄色。子ども達は？？秋を楽しみにしてもらいました。

笹舟を作つて浮かべよう—作り易いオカメザサを用意した。初めての方が殆どなので、説明しながら作っていく。舳先は笹の葉を内側に少し折り曲げて三つに裂いて差し込むが、すぐ外れてしまってと苦戦。---『できた！！』 確り持つて小川に急ぐ。小川は流れがなく“淀み”で浮かせると、浮いた！水を動かしても浮いてしばらく遊びました。

お風呂で浮かべて遊びたいと子ども達は持ち帰りました。



シロツメクサの花輪、サクラの葉の草履、シュロの葉で編んだカメも紹介した。

感想・葉っぱを写したのが楽しかった。

- ・七夕の竹が青々していてよかったです。
- ・笹舟ができてうれしかった。
- ・笹舟は初めてで、感動した。
- ・オオシオカラを始めて見た。
- ・子どもが生き生きしていてよかったです。



○ 生き物に興じていた子どもがケースにカエルなど入れて得意げに見せてくれました。

カエルで遊んだ手を洗って全員そろって解散しました。仲間の指導員さんのご協力に感謝しています。体調をくずしたり、怪我もなく、無事に終わることができました。